



平成26年3月3日

鹿児島市長 森 博幸 殿

鹿児島市事業評価監視委員会
委員長 平田 登基男



平成25年度鹿児島市事業評価監視委員会における審議結果について（報告）

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

付議された都市再生整備計画（宇宿中間地区・吉野地区・谷山第二地区）及び社会資本総合整備計画「安全で快適な憩いの空間形成」の各事後評価原案について、詳細に審議を行った結果、いずれも妥当であるものと認める。

事業評価監視委員会で出された主な意見

都市再生整備計画（宇宿中間地区・吉野地区・谷山第二地区）

- ・整備区域内の緑地については、減少した印象を受ける地区も見られたことから、今後まちづくりの推進に当たっては、緑化や景観など、快適で潤いのある住環境の形成に配慮しながら取り組まれない。
- ・吉野地区及び谷山第二地区については、計画目標を定量化する指標として「住民の満足度」を設定しているが、指標の達成状況等の説明に当たっては、アンケートの対象者数や回収率、調査項目等に係る参考資料を添付するなど、説明のあり方をさらに工夫されたい。

社会資本総合整備計画「安全で快適な憩いの空間形成」

- ・同計画においては、定量的指標として「鴨池公園年間利用者数の実績」を設定しているが、鴨池公園水泳プールにおける指定管理者の導入効果や、建物壁面への完成予想図掲出によるPR効果など、事業効果の発現に寄与したその他の要因も想定されることから、それらの補足的な説明についても今後検討されたい。